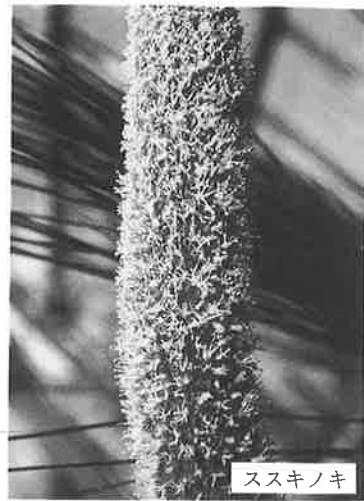


ン温室に鉢植え展示していたもので、開花時の樹高は約130cmであった。

本個体は、1992年6月上旬に花茎を垂直に伸ばし始め、約110cmに達した。7月中旬から開花を始め、開花期間は約3カ月であった。結実はしなかった。

また前報では、寄贈の約1年経過後も発根が見られないことを記したが、本個体は1992年の春に細根の発生が確認できた。



## タバココナジラミの発生と防除について(2)

藤井俊昭・柴田昌男

平成3年の春に始まった大温室のコナジラミ類防除作業は、平成4年8月に一応の決着をみた。

平成3年度は、従来からのオンシツコナジラミに加え、タバココナジラミが併発し、種々の薬剤を散布したがあまり大きな効果はあがらなかった(前報参照)。そこで、平成4年度は3年度で比較的効果のあったロディー乳剤、スプラサイド乳剤に、タバココナジラミに対する薬

効が報告されているトレボン乳剤を加え、表のとおり病害虫防除作業を業者委託により実施することとした。

しかしながら、大きな薬効は得られず、毎月1回職員による臨時薬剤散布が8月まで必要となった。この間臨時に散布した薬品は、デス乳剤、アブロード水和剤である。

8月下旬にエビセクト水和剤とトレボン乳剤を混合散布したところ、1年以上にわたって絶滅できなかったコナジラミ類をほぼ根絶することが出来た。以降平成5年2月現在まで、委託薬剤散布を定期的に行っているだけで臨時的なコナジラミ類防除作業は行っていない。

表. 平成4年度大温室薬剤散布行程表(委託分)

○印は実施時期(上・中・下旬)を示す

薬品	実 施											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スプラサイド乳剤	○				○				○			
ダニカット乳剤												
トレボン乳剤		○				○				○		
ベンレート水和剤												
オルトラン水和剤				○							○	
トップジンM水和剤							○					
ロディー乳剤					○				○			○